

全国から応援に来ています!

福島県各地に、全国から様々な方達が応援に来てくれています。そんな頼れる皆さんからのメッセージをお伝えします。



社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会
新屋 司さん

沖縄からいわき市に応援に来ています。全国から駆けつけるボランティアの熱い想いと復興にむかう地元の元気な姿に日々感動しながらの活動です。ひとつでも多くの笑顔に出会えるよう、精一杯お手伝いしたいと思います。チバリヨー福島



社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
中村 健治さん

「小さな釣り船で、台風の日に出たようだった・・・死ぬと思った」と新地町での最後の日に、地元の漁師さんが話しかけてきた。心身と将来への不安、寄り添う皆が全国にいます。皆が何かをしたいと想い・行動しています。福島ファイト!!

ますます重要になるボランティアの役割 ～「災害ボランティア」は「泥かき」だけじゃない!～

最近、被災地以外のボランティアセンターのコーディネーターから、こんな話を聞きました。

何度も被災地へ行って活動をしているボランティアが、「今回の活動は、やりがいを感じられなかった」と少し不満げな様子。理由を聞くと……

それまでは、ずっと「泥かき」をしていて、活動後にきれいになった光景を見ると何とも言えない達成感があり、「また来よう!」と思った。

しかし、今回、被災地の災害ボランティアセンターから紹介された活動先は、一人暮らしの高齢者宅で汚れたお皿などを洗うお手伝い。なんだか、あまり「やった!」という感じがなくて……。次は、また泥かきの活動を希望しようと思う。身体はきついけれど、もっと役に立ちたいから。

「災害ボランティア」というと、すぐ「泥かき」を思い浮かべる方が多いと思います。実際、水害の場合はある時期までそのニーズが大きく、また大人数で一斉に行った方が効果的なため、ボランティアの活動内容として中心的に紹介されます。しかし、「災害ボランティア」イコール「泥かき」というわけではありません。

福島県では、そろそろ「泥かき」や「ガレキの片付け」といったニーズが収束に向かいつつあります(地域による差はあります)。代わって、仮設住宅へ移られた方の「暮らし」の困りごとへの支援、コミュニティづくりを支える活動、復興に向けた多様な取り組みが必要となってきます。

ボランティア活動には決まった形や内容があるわけではありません。重要なのは、その時期にその地域で必要とされていること、あるいはその時にその人が求めていることをキャッチし、それに応えていく活動を一緒に作り出していくことです。

「泥かき」がなくなっても、ボランティアの出番はまだたくさんあります! これからも、よろしくをお願いします。

仮設住宅に移ったけど、周辺にお店がなくて困っている

子ども達が思いっきり遊べる場所って?

仮設住宅の住民が仲良くなれる企画があればなあ

福島県立図書館

アクアマリンふくしま

県立2文化施設が7月15日(金)に再開します!

甚大な被害を受け休館中だった福島県立図書館とアクアマリンふくしまが、7月15日に再開します。

福島県立図書館 福島市にある福島県立図書館は、絵本や児童図書が並ぶ「こどものへや」が比較的被害の少なかったことから、7月15日(金)に部分開館することになりました。大規模な補修が必要な公開図書室には入れませんが、本の貸し出し、返却、コピー、インターネット、蔵書検索端末の利用ができます。また、部分開館を記念して24日まで、3階の第2研修室で「応援メッセージ展」を開催します。会場には、ハワイやシンガポールから福島県に届いた応援メッセージ約1,500通が展示されます。



▲福島県立図書館

アクアマリンふくしま 国内8カ所の施設に生き物を避難させているいわき市のアクアマリンふくしまも、壊滅状態だった電気系統や水道が復旧したことから、開園から11年目を迎える7月15日に再オープンすることになりました。「海の日」を含む3連休(7/16~7/18)には、記念イベントも予定しています。



▲アクアマリンふくしま

詳しくは、福島県立図書館(☎024-535-3220)、アクアマリンふくしま(☎0246-73-2525)まで

被災をされた方へ

本格的な夏が近づき、県内各地では仮設住宅の建設が進み、避難所から仮設住宅に移る方が増えています。

平成19年7月、新潟県中越沖地震が起こった柏崎市で、仮設住宅の生活支援相談員を指導された大掛さんから、健康に明るく元気に仮設住宅で暮らすための注意点をお伺いしました。

「仮設住宅での暮らし ～こんなととに気をつけて～」

柏崎市社会福祉協議会 統括生活支援相談員 大掛 幸夫

①梅雨から暑い夏場を 乗り越えるための注意点

◆夏場に注意していただきたいのは熱中症です。こまめに水分を取り脱水症状にならないようにしましょう。気温が高い日中はクーラーを使って部屋を適温にしましょう。

◆仮設住宅の外壁は太陽熱で非常に熱くなります。不用意に触ってやけどをしないように注意してください。柏崎市の仮設住宅では、ツル性の植物(ゴーヤなど)を住宅の壁に這わせて「緑のカーテン」をつくりました。

◆気温や湿度の高い夏場は食中毒が発生しやすくなりますので衛生管理を心掛けましょう。

②コミュニティづくり

◆仮設住宅に移ったことで、それまでのコミュニティ(地域のつながり)が薄くなってしまいがちです。

◆集会室で開催されるふれあいサロンや行事に積極的に参加し、仮設住宅内の近所づきあいを深めましょう。

◆仮設住宅周辺の地域のことを知るために周辺住民とのつながりをつくりましょう。

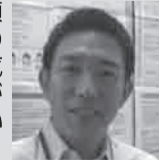
◆なによりも前向きに、積極的に生きることが大切。自分のできることから一歩ずつ前に進んでいくことです。



私たちはこれからも一日も早く皆さんが日常を取り戻すお手伝いをさせていただきます。

編集後記

今、県内各地で復興の願いを込め、福島に明るい話題を届けようと市民レベルでの植物の植栽をする運動が広がっているようです。我が家でも庭にたくさんさんのヒマワリがすくすくと育ち、いくつもの大輪の花が咲く日を皆で心待ちにしています。願いを込めた季節の花が私たちに勇気づけ、笑顔の輪が広がることを願います。(ワタナベ)



赤い羽根共同募金



がんばろう、福島。

最新情報はホームページで
ご覧ください!

<http://www.pref-f-svc.org/>

